

1 病院の概要

- (1)【名称】 医療法人社団 武蔵野会 TMG あさか医療センター
- (2)【開設日】 2018年1月1日
- (3)【病床数】 454床
- (4)【標榜科】 33科
内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・
心療内科・外科・呼吸器外科・消化器外科・小児外科・
肛門外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・小児科・
皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻科・リハビリテーシ
ョン科・麻酔科・放射線科・精神科・神経内科・救急科・
緩和ケア内科・歯科口腔外科・血液内科・糖尿病内科・
乳腺外科・小児泌尿器科・病理診断科

2 災害時の体制について

当院は、1年365日24時間体制で診療を行っており、災害発生時においても継続した医療提供が可能な体制を整えている。救急搬送受入実績は年間7,000件以上（2025年度）に上り、平時より多数の救急患者を受け入れている。

また、戸田中央メディカルケアグループとしてTMG災害医療支援チーム（TDR）を保有しており、東日本大震災および熊本地震において災害医療支援活動を実施してきた実績がある。これらの経験を踏まえ、災害時においても迅速かつ適切な医療支援を行う体制を構築している。

3 近隣の災害拠点病院との関係について

当院は、災害拠点病院である埼玉病院と連携し、朝霞地区4市（新座市、志木市、和光市、朝霞市）における災害医療支援を実施している。災害発生時には、役割分担や情報共有を行いながら、地域医療機関として広域的な災害対応に寄与する体制を整えている。

4 施設・設備について

当院の建物は全体が免震構造となっており、大規模災害発生時においても医療機能を維持できる構造となっている。救急車を2台保有しているほか、水害対策として救命ボート1台を所有しており、同ボートは埼玉県南西部消防局の管理のもと運用されている。

また、非常用発電機については朝霞線および宮戸線の2系統を有しており、いずれか一方が稼働停止した場合においても対応可能な体制を構築している。

さらに、当院の診療圏は朝霞地区4市に及び、関越自動車道、東京外環自動車道、川越街道、浦和所沢バイパス、JR武蔵野線および東武東上線に近接する立地条件から、災害時における地域医療の中核的役割が期待されている。

■病院外観



■患者受け入れスペース



■DMAT 派遣車輛



■発電機



■受水槽

